序　章　日米の社会保障とその背景 ……（杉田米行）…… 3

第 1 章　20 世紀初頭自由党政権下の社会政策と選挙政治
―― 1906 ～ 1910 年 1 月 ―― ……（岡田　新）…… 7

1. はじめに　7
2. 綻びる勝利　12
   (1) 自由党の再生 ― 1906 年総選挙 ―　12
   (2) 補欠選挙 ― 1906 ～ 1907 年 ―　17
   (3) 補欠選挙 ― 1908 ～ 1909 年 ―　19
3. 1910 年 1 月総選挙 ― 1 人区の攻防 ―　25
   (1) 1910 年 1 月総選挙　25
   (2) 1 人区における対決　30
   (3) 自由党と労働党　35
   (4) 1906 年総選挙で大きく自由党が躍進した選挙区　38
   (5) 補欠選挙と 1910 年 1 月総選挙　40
4. 1910 年 1 月総選挙 ― 2 人区における自由党と労働党 ―　42
   (1) 政党対決の類型　42
   (2) ハリファックスとレスター　44
   (3) ダービーとダンディー　50
   (4) マーサ・ティディフィル、ポーツマス　54
   (5) 補欠選挙との比較 ― ニューカッスル・アポン・タイン ―　57
5. 結びにかえて　59

第 2 章　20 世紀世紀転換期ニューヨーク市公衆衛生行政
―― 細菌・他者・行政組織 ―― ……（平体由美）…… 66

1. はじめに　66
2. ニューヨーク市公衆衛生行政の発展　69
3. ミドルクラスと公衆衛生　73
4. 乳幼児の保護と公衆衛生　78

5. おわりに　84

第3章　アメリカ医師会と医療保険 —— 日本との比較の中で ——
……（山岸敬和）…… 91

1. はじめに　91
2. 日本医師会と医療保険　95
   (1) 公的保険への支持から反対へ — 1910 ～ 1930 年代 —　96
   (2) 第二次世界大戦、医療保険、医師会　99
   (3) 公的保険支持 — 1945 年以降 —　103
3. アメリカ医師会と医療保険　107
   (1) 公的保険への支持から医療保険全般への反対へ —1910～1930年代 —　107
   (2) 第二次世界大戦、医療保険、医師会　111
   (3) 民間保険支持、公的保険拒絶 — 1945 年以降 —　115
4. むすびにかえて　118

第4章　アメリカ児童福祉の解釈
……（向井洋子）…… 128

1. アメリカの児童福祉　128
   (1) 問題の所在　128
   (2) 用語の定義　129
   (3) 社会保障プログラムの現在　130
2. アメリカ政治の解釈　132
   (1) 多元主義　132
   (2) 制度論　133
   (3) アメリカ政治を理解する新たな手がかり　134
3. 社会保障に関する先行研究　135
   (1) 代表的な研究　135
   (2) 歴史主義　137
   (3) 連邦最高裁の合憲判決　139
   (4) いくつかの留保　142

4. 新しい研究傾向　*143*
(1)「特定の利益」への回帰　*143*
(2) 時代の変容　*144*
(3) 改革過程における言説　*145*
5. 結　論　*146*

第5章　アメリカにおける1996年福祉改革法とジェンダー
—— 第104連邦議会の女性議員に見るフェミニズムと福祉 ——
……（佐藤千登勢）……*151*

1. はじめに　*151*
2. 1996年福祉改革法の結婚、妊娠・出産、子供の扶養義務、保育に関する条項　*153*
3. HR 4から1996年福祉改革法へ — 女性議員とフェミニズム —　*156*
4. 福祉改革の成果とジェンダー　*163*
(1) 10代の妊娠と婚外子の減少　*163*
(2) ファミリー・キャップ　*166*
(3) 子供の扶養義務　*169*
(4) 保育サービス　*172*
5. おわりに　*174*

第6章　アメリカの福祉国家再編と対貧困者政策
……（西山隆行）……　*183*

1. はじめに　*183*
2. アメリカの福祉国家再編　*185*
(1) 歴史的経緯と政治過程　*185*
(2) 基本的特徴　*188*
3. 福祉改革後の現状　*192*
(1) 就労貧困者の収入　*192*
(2) 社会サーヴィスと慈善活動　*201*

4. むすびにかえて　207

第７章　社会福祉事業の拡大・拡充とその限界

……（村上貴美子・宇都宮みのり）……　213

1. 序　論　213
2. 社会福祉事業政策・法の整備　214
   (1) 社会福祉政策理念の成立　214
   (2) 社会的扶養の法的根拠の形成　218
   (3) 社会福祉事業体制の法整備　219
3. 社会福祉事業の拡大・拡充の実態　222
   (1) 社会福祉事業・政策対象の拡大 ― 3 法から 6 法へ ―　222
   (2) 施設福祉から在宅福祉、そして地域福祉へ　228
4. 社会福祉事業の拡大・拡充の構図　237
   (1) 社会的扶養の拡大の政策的構図　237
   (2) 女性の労働形態の変化　240
   (3) 社会福祉サービス労働の社会的労働化　243
5. 結論　家事労働の社会的労働化と専門職業化の志向　247

第８章　従来日本社会保障パラダイムと日本型社会保障の方向

――「福祉元年」から「社会保障体制の再構築」までを中心として ――

……（増山道康）……　253

1. 従来日本型社会保障パラダイムの構造　253
   (1) 国防国家綱領による社会保障パラダイム形成　254
   (2) 日本型社会保障パラダイムの特徴　256
2. 厚生行政の長期構想における社会保障パラダイムの継承　257
   (1) 従来パラダイムの見直し　257
   (2) 従来パラダイムの再構築　258
   (3) 国民皆保険の成立とパラダイム転換の展望　260
   (4) 社会保障体制の一応の完成と厚生行政長期構想による新パラダイム　263

3. 日本型福祉社会論の形成と従来社会保障パラダイムの継承　265
(1)「福祉元年」の停止と日本型福祉社会論　265
(2) パラダイムの第 2 の方向　268
4. 1990 年代以降のパラダイムの方向　269
(1) 1995 年勧告に見る新たなパラダイム　269
(2) 1995 年勧告の限界（従来パラダイムの継承）　271
5. 社会保障パラダイムを支える思想的底流　274

第 9 章　地域における社会保障システム
——「健康づくり」による「地域づくり」の事例を中心に ——
……（杉山章子）……　287

1. はじめに　287
2. 長寿社会における健康不安　288
(1) 長寿社会と健康　288
(2) 健康不安の正体　290
3. 地域における健康づくり活動　294
(1) 村ぐるみの健康づくり事業 — 長野県八千穂村 —　296
(2) 栄養グループの誕生　298
(3) グループ活動の進展　302
(4) 福祉施設の建設運動　304
4. 活動に関わる人と組織の動き　308
(1) 形成期　310
(2) 展開期　311
(3) 発展期　312
(4) 社会保障システムの誕生　313
5. 社会保障システムの形成　314
(1)「時間」— 時間の重なりを捉えて流れをつくる —　315
(2)「空間」— 公共空間を創り出す —　318
(3)「関係」— 社会関係の活用・再生・創出 —　320

(4) 地域の「社会保障」のかたち　324

第 10 章　日本における生活保護と社会保障政策

……（野村茂治）……　328

1. はじめに　328
2. 社会保障制度の役割とその意義　329
3. 社会保障制度のアーキテクチュア　335
   (1) 社会保険システムの役割　335
   (2) 税の調達による社会的ロス（死荷重（デッドウエイトロス：deadweight loss））　338
4. 社会保障プログラムの進展プロセス　342
   (1) 社会保障プログラムの進展プロセスにおける政治力学　342
   (2) 社会保障プログラムの進展プロセスにおける経済メカニズム　346
5. 社会保障改革と所得再分配　349
   (1) 失業保険　349
   (2) 年金制度　351
   (3) 医療制度　354
6. 生活保護（公的扶助）と社会保障　357
   (1) 生活保護の現状　357
   (2) 生活保護政策改革の方向性　362
7. 結　語　367

第 11 章　OASDI 方式の厚生年金保険への適用可能性

―― 保険数理モデルによる検討 ――　……（山本克也）……　372

1. はじめに　372
2. OASDI 小史　374
   (1) 制度創設から第一次改革期　374
   (2) OASDI の財政状況　375
   (3) ベビーブーマー対策　377
3. 年金給付算定方法の特徴　380

(1) OASDI の年金給付算定方法　380
(2) 厚生年金保険の年金給付算定方法　382
(3) OASDI と厚生年金保険の所得再分配の比較　384
4. 使用するモデルとシミュレーションの設定説明　386
(1) 財政検証の方法　386
(2) OASDI 方式とクローバック方式の採用　387
5. シミュレーション結果　389
(1) 代替率の比較　389
(2) 財政への影響　391
6. おわりに　392

執筆者紹介……397